

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(工事計画:計測制御系統施設)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-本-005-01	島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料 計測制御系統施設のうち制御方式及び制御方法(本文)	P.4-1-1	用語の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)スクラム信号 (新)原子炉非常停止信号	2022/8/4	
2	NS2-本-005-01	島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料 計測制御系統施設のうち制御方式及び制御方法(本文)	P.4-1-7,8	用語の統一を図るため、記載の適正化を実施しました。(下線部参照) (旧)残留熱除去系(低圧注水系) (新)残留熱除去系(低圧注水モード)	2022/8/4	
3	NS2-添1-013-02	島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料 計測制御系統施設のうち制御材駆動装置(添付書類)	P.2,4~9,11,13,15,17,19,21,23	設備名称を適正化しました。(下線部参照) (旧)水圧制御ユニットアキュムレータ, 水圧制御ユニット窒素容器 (新)水圧制御のユニットアキュムレータ, 水圧制御ユニットの窒素容器	2022/8/4	
4	NS2-添1-013-02	島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料 計測制御系統施設のうち制御材駆動装置(添付書類)	P.25,26	他施設との統一を図り、表タイトルを修正しました。(下線部参照) (旧)制御棒駆動水圧系主配管 (新)制御棒駆動水圧系主配管の設計仕様表	2022/8/4	
5	NS2-添1-013-04	島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料 計測制御系統施設のうちはう酸水注入設備(ほう酸水注入系)(添付書類)	P.39,40,43, 第5-3-1-2-1~ 4 図 別紙1 別紙1【経路図 管No.表】P.2	重大事故等時の原子炉圧力容器からの圧力(8.98MPa)、温度(304℃)を考慮している範囲がRCPBまでとなっていたため、設計上で原子炉圧力容器からの温度、圧力を考慮している「ほう酸水注入ポンプ～差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11 ノズルまでの外管)」の仕様を適切に見直しました。	2022/8/4	
6	NS2-添1-013-04	島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料 計測制御系統施設のうちはう酸水注入設備(ほう酸水注入系)(添付書類)	P.43	他施設との統一を図り、表タイトルを修正しました。(下線部参照) (旧)ほう酸水注入系主配管 (新)ほう酸水注入系主配管の設計仕様表	2022/8/4	
7	NS2-添1-013-04	島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料 計測制御系統施設のうちはう酸水注入設備(ほう酸水注入系)(添付書類)	第5-3-1-2-1~ 4 図 別紙1 別紙1【経路図 管No.表】P.3	適正箇所No.5の見直しに伴い、「*7重大事故等時における使用時の値」を追加しました。 また、*7の追加により、以降の注記番号を見直しました。	2022/8/4	
8	NS2-本-005-06	島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料 計測制御系統施設のうち計測装置(本文)	P.4-1-37,38	用語の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)スクラム信号 (新)原子炉非常停止信号	2022/8/4	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
9	NS2-本-005-06	島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料 計測制御系統施設のうち計測装置(本文)	P.4-1-49	原子炉水位(狭帯域)の警報動作範囲について、水位低警報用検出器のみに警報仕様を記載し、水位高警報用検出器には警報仕様を記載していませんでしたが、技術基準(47条)要求は「原子炉水位低又は高」であり、水位高警報も対象であることから警報仕様を追記しました。(下線部参照) (旧) — (新) <u>0～+150cm</u>	2022/8/4	
10	NS2-添1-013-07	島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料 計測制御系統施設のうち制御用空気設備(逃がし安全弁窒素ガス供給系)(添付書類)	P.88	「窒素ガスポンベ連結管接続口～逃がし安全弁窒素ガス供給装置出口ライン合流部」については重大事故等対処設備としてのみ使用するもの、設計基準対象施設としても使用するような記載があったため、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照)  (旧) 本主配管は、窒素ガスポンベ連結管接続口から逃がし安全弁窒素ガス供給装置出口ライン合流部までを接続する配管であり、 <u>設計基準対象施設として、逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガスを、逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータに供給するために設置する。</u> <u>重大事故等対処設備としては、逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガスを、逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータに供給するために設置する。</u> (新) 本主配管は、窒素ガスポンベ連結管接続口から逃がし安全弁窒素ガス供給装置出口ライン合流部までを接続する配管であり、 <u>重大事故等対処設備として、逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガスを、逃がし安全弁逃がし弁機能用アキュムレータに供給するために設置する。</u>	2022/8/4	
11	NS2-添1-013-07	島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料 計測制御系統施設のうち制御用空気設備(逃がし安全弁窒素ガス供給系)(添付書類)	P.100	配管名称が要目表と異なっていたため以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照)  (旧) 窒素ガスポンベ連結管～窒素ガスポンベ接続口 (新) 窒素ガスポンベ連結管～ <u>窒素ガスポンベ連結管接続口</u>	2022/8/4	
12	NS2-添1-013-07	島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料 計測制御系統施設のうち制御用空気設備(逃がし安全弁窒素ガス供給系)(添付書類)	P.100	「窒素ガスポンベ連結管～窒素ガスポンベ連結管接続口」については重大事故等対処設備としてのみ使用するもの、設計基準対象施設としても使用するような記載があったため、以下のとおり記載を削除しました。(下線部参照)  (旧) <u>設計基準対象施設として使用する本主配管の最高使用圧力P1は、窒素ガスポンベの最高使用圧力に合わせ、14.7MPaとする。</u> <u>本主配管を重大事故等時において使用する場合の圧力は、重大事故等時における窒素ガスポンベの使用圧力に合わせ、14.7MPaとする。</u> (新) 本主配管を重大事故等時において使用する場合の圧力は、窒素ガスポンベの最高使用圧力に合わせ、14.7MPaとする。	2022/8/4	
13	NS2-添1-013-07	島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料 計測制御系統施設のうち制御用空気設備(逃がし安全弁窒素ガス供給系)(添付書類)	P.100	「窒素ガスポンベ連結管～窒素ガスポンベ連結管接続口」については重大事故等対処設備としてのみ使用するもの、設計基準対象施設としても使用するような記載があったため、以下のとおり記載を削除しました。(下線部参照)  (旧) <u>設計基準対象施設として使用する本主配管の最高使用温度T1は、高圧ガス保安法に基づき40℃とする。</u> <u>本主配管を重大事故等時において使用する場合の温度は、高圧ガス保安法に基づき40℃とする。</u> (新) 本主配管を重大事故等時において使用する場合の温度は、高圧ガス保安法に基づき40℃とする。	2022/8/4	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
14	NS2-添1-013-07	島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料 計測制御系統施設のうち制御用空気設備(逃がし安全弁窒素ガス供給系)(添付書類)	P.101	「窒素ガスポンベ連結管～窒素ガスポンベ連結管接続口」については重大事故等対処設備としてのみ使用するものの、設計基準対象施設としても使用するような記載があったため、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照)  (旧) 本配管は、 <u>設計基準対象施設</u> として逃がし安全弁用窒素ガスポンベと同じ個数である15個(予備15個)を設置する。 <u>本配管は、設計基準対象施設として15個(予備15個)設置しているものを重大事故等対処設備として使用する。</u> (新) 本配管は、 <u>重大事故等対処設備</u> として逃がし安全弁用窒素ガスポンベと同じ個数である15個(予備15個)を設置する。	2022/8/4	
15	NS2-添1-013-07	島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料 計測制御系統施設のうち制御用空気設備(逃がし安全弁窒素ガス供給系)(添付書類)	P.102	配管名称が要目表と異なっていたため以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照)  (旧)窒素ガスポンベ連結管～窒素ガスポンベ接続口 (新)窒素ガスポンベ連結管～窒素ガスポンベ連結管接続口	2022/8/4	
16	NS2-本-005-A	島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料 計測制御系統施設(設備リスト)	P.4-2-40～42	原子炉非常停止信号の検出器及び工学的安全施設等の起動信号の信号の耐震重要度分類について、信号とみなして分類しない方針から、検出器とみなして分類する方針に見直したことによる記載の適正化を行いました。	2022/8/4	
17	NS2-本-005-A	島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料 計測制御系統施設(設備リスト)	P.4-2-43～46	原子炉非常停止信号の検出器及び工学的安全施設等の起動信号の耐震重要度分類を見直したことにより、注記(*17～20)を追記し、以降の注記番号を繰り上げました。	2022/8/4	